

**製品名: トロポミオシン 1 (9X18) ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe19299**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,IF-P
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02% 新型保存料 N、50% グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:100-1:200,IF-P 1:100-1:200
分子量	33kDa

**抗原情報**

遺伝子名	TPM1
別名	CMH3; TMSA; CMD1Y; C15orf13; HTM-alpha;
遺伝子 ID	7168.0
SwissProt ID	P09493
免疫原	ヒトトロポミオシン 1 (アルファ) の合成ペプチド

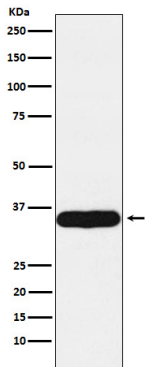
**背景**

筋細胞および非筋細胞においてアクチンフィラメントに結合します。トロポニン複合体と共役して、脊椎動物の横紋筋収縮のカルシウム依存性制御において中心的な役割を果たします。筋細胞および非筋細胞においてアクチンフィラメントに結合します (PubMed:23170982)。トロポニン複合体と共役して、脊椎動物の横紋筋収縮のカルシウム依存性制御において中心的な役割を果たします (PubMed:23170982)。平滑筋収縮はカルデスモンとの相互作用によって制御されます。非筋細胞においては、細胞骨格アクチンフィラメントの安定化に関与しています。

## 研究分野

シグナル伝達

## 画像データ



ヒト心臓溶解物中のトロポミオシン 1 発現のウェスタン ブロット分析。